

2019.12
vol.1びばい農泊
ニュースレター美唄
BIBAI

ごあいさつ

皆さま、こんにちは!『びばい食農アートまちづくり推進協議会』事務局です。2019年4月に誕生したこの協議会の動きを皆さまにお伝えできるよう、このたび「農泊ニュースレター」を発行するのはこびとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、市内で作られる美味しい農作物、開拓や炭鉱の歴史、安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄、マガンの寄留地宮島沼、美しい畑や田んぼの景観といった地域の宝物を見つめなおし、どのように組み合わせたら美唄のもっている魅力を存分に伝えられるかを探っています。ワークショップやモニターツアーでも皆さまと一緒に考えていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします!

びばい食農アートまちづくり推進協議会では、今回の農泊事業を通じて『美唄に心を寄せてくださる人を増やして美唄のまちが元気になること』を目的にしています。美唄を知り、訪れたことをきっかけに、長く・深く愛してくれるような人たち。たとえば繰り返し美唄を訪れてくれるリピーターであったり、二地域居住者(週末のみ美唄で過ごすなど)であったり、移住してくる人であったり。この土地で暮らす人たちとの交流を通じて居心地の良さを感じてもらえたら、美唄を心のふるさととしていつも気にかけて応援したくなる「関係人口」となる可能性がぐっと高まり、交流やビジネスが盛んになることにつながる。そのような思いをもって、私たちは農泊事業に取り組んでいます。



「農泊」とは…

『農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験と農村地域の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、多様な宿泊手段により旅行者にその土地の魅力味わってもらおう農山漁村滞在型旅行を指します。』(農林水産省ホームページより)

なお、「農泊」は農家民宿や農業体験のみではなく、旅行者が美唄で味わえること全てが含まれます。



8月

ワークショップを行いました

協議会代表・磯田憲一の挨拶から始まり、この農泊推進事業にかける思いをそれぞれが言葉にし、地域関係者の皆さんと意識を共有しました。ゲストとしてお招きした美唄市長・板東知文氏および空知総合振興局産業振興部調整課主査(農村振興)・山田雅彦氏から奨励のお言葉もいただき、市内はもちろん、空知をはじめとした道内の各地域とも連携しながら、農泊を通じて未来につながる美唄のまちづくりを行ってきたいという思いを新たにしました。1泊2日の観光ツアーのアイデア出しでは、各人の把握している地域資源をどう組み合わせるか、美唄在住歴や立場が様々な中で4グループに分かれて盛んな意見交換が行われ、おわりに地域の美味しい食材を共に味わいながら美唄という土地のもつ豊かな恵みを感じる時間となりました。



10月



秋のモニターツアー

8月に開催されたワークショップでのアイデアをふまえ、雪が降る前に実施したい内容を優先させた秋のモニターツアーを開催しました。1日目は西エリア「食」「農」メインとし、なかむらえぶろん倶楽部でとりめし作りの体験と昼食、フオスポット巡り(美唄ならではの景色探し)、貞広農場 よ〜いDONを来訪にて新米でのもちつき体験。夜はモニター2名と美唄焼き鳥を楽しみました。2日目は東エリア「アート」「日本遺産」メインとし、東明駅舎、竪坑橋、美唄ダム、アルテピアッツァ美唄、午後には前川ファームを訪問。今回モニターとして招いた専門家と外国人の目線でチェックを受け、また地域関係者自身がお互いの経験をふまえてざっくばらんに話しながら地域資源を再認識しました。美唄ダム方面の山々の紅葉は圧巻の美しさでした。



発行:びばい食農アートまちづくり推進協議会

びばい食農アートまちづくり推進協議会は以下の4つの団体で構成されており、事務局はアルテピアッツァ美唄内にあります。また、2019年12月～2020年3月の間、美唄フォレストセンター(駅前活性化センター)2階の事務所スペースを利用し、毎週金曜日10～18時をオフィスパワーとして開館します。お気軽にお立ち寄りください。

- NPO法人アルテピアッツァびばい
- 美唄市農業協同組合
- 株式会社美唄自動車学校
- 貞広農場 よ〜いDON

事務局のはがてす。東京から引越してきて、美唄のおいしい野菜や美しい雪景色に日々感謝しています。美唄の魅力を様々な形で発信していきたいと思っております！



編集後記